

机上単価入札を実施して

中津川営林署 経理課 宮地 恒
販売対策委員会

1. はじめに

長期にわたる木材需要の落ち込みと、価格の低迷が続く中で、収入確保は厳しさを増している。当署の製品販売収入は、全収入の90%を占めており、生産部門と販売部門の連携を一層密にして、いかに企業的な販売活動を推進するかにかかっている。

このため十数年前から、生産・販売会議（現在の名称……販売対策委員会）を設け、生産部門と販売部門が一体となり、各種の試みや、初の机上単価入札を実施し大きな成果が得られたので発表する。

2. 販売対策委員会の活動状況

(1) 組織

販売対策委員会は署長がチーフとなり、製品処分係長を事務局として、次長・関係課長・担当係、現場からは製品・貯木場の両主任及び係員のメンバーで編成している。

(2) 定例委員会等

毎月一回出署日を利用し開催している。

その他緊急対応上必要な時は、随時開催している。

(3) 会議の内容

生産・販売計画と進行状況報告、委託材、輸送販売材の出材検討、山ごとの有利採材の検討、産地ごとの試験びき展示によるPR、きめ細かい極積、その他需要動向や市況動向の分析などについて、活発な討論を行っている。

(4) 最近の販売上の問題点

ことに最近の販売に当って、問題化し、対応が迫られているものとしては、

- ① 入札参加者の減少傾向が続く。
- ② 販売単価の伸びなやみ。
- ③ 東濃ヒノキの需要拡大にいかに取り組むか。
- ④ 活力ある公売と職務意欲の向上を目指していかに取り組むか。
- ⑤ 宣伝活動の弱さの対策。
- ⑥ 民間並の新鮮材供給対策。

これらの問題点を克服するため、販売対策委員会で検討した結果、生産から販売までの期間短縮による新鮮材販売の取り組みや、東濃ヒノキ良材特選木を主体にした m^3 当りの単価入札（民間市売方式）により、新たな視点に立った活力ある公売を実施することとした。

3. 机上単価入札の取り組み概要

- (1) 公 売 日 2回実施（昭和61年2月20日、62年1月13日）
- (2) 入 札 会 場 中津川文化会館
- (3) 入 札 方 法 机上での m^3 当たり単価入札（入札単価は100円単位）で2口つつ入札し1口つつ落否決定する。
- (4) 郵便入札 認める。
- (5) 積 積 方 法 良材、銘柄材は単木及び小口積（俵積）とした。
- (6) 積の大きさ 元玉ヒノキ、柱材、木曾ヒノキ、天然スギなどは1～6本積。中玉ヒノキは30～50本積。その他は6～13 m^3 積。
- (7) 宣 伝 活 動 活発で幅広い宣伝活動とするため、職員一丸となって次の内容の取り組みを行った。
 - ① 郵送による概要チラシの配布。
 - ② 関係団体、業者への訪問による啓もう、宣伝。
 - ③ 局広報、センター情報、署広報を活用しての宣伝。
 - ④ 一般、業界新聞社へ記事のなげ込み。
 - ⑤ 民間木材市場における来客へのチラシの配布。
 - ⑥ 電話作戦による宣伝。
 - ⑦ 出品材の署名・産地名の表示。
 - ⑧ 公売日当日はハッピー等で活気ある公売とサービスに努める。

4. 机上単価入札の実施結果

第1回入札は「東濃ヒノキ販路拡大キャンペーン」をサブタイトルとして、城山、明知産ヒノキを中心に天然スギ（享保大スギ）、天然ヒノキ、ケヤキ、ミズメ等の特殊大径木を目玉商品にして177口、659 m^3 を出品した。

第2回入札は東濃ヒノキの王様である城山産ヒノキを主体とし、小坂・下呂・付知営林署から人工林ヒノキを協賛出品して頂き「東濃4署特選ヒノキ初競売」をサブタイトルとして338口、1,111 m^3 の大量出品した。

この結果、民間団体を始め木材業界の反響は大きく、一般新聞、テレビ等のマスコミが大々的

報道してくれるなど、多くの入札参加者を頂き大盛況の公売にすることができた。

販売面においても、入札枚数、単価、値開きなど当署の過去の公売実績を格段に上回る好結果となり、収入確保の達成はもとより、東濃ヒノキの販路拡大を図るなど目標以上の大きな成果を得ることができた。

5. お わ り に

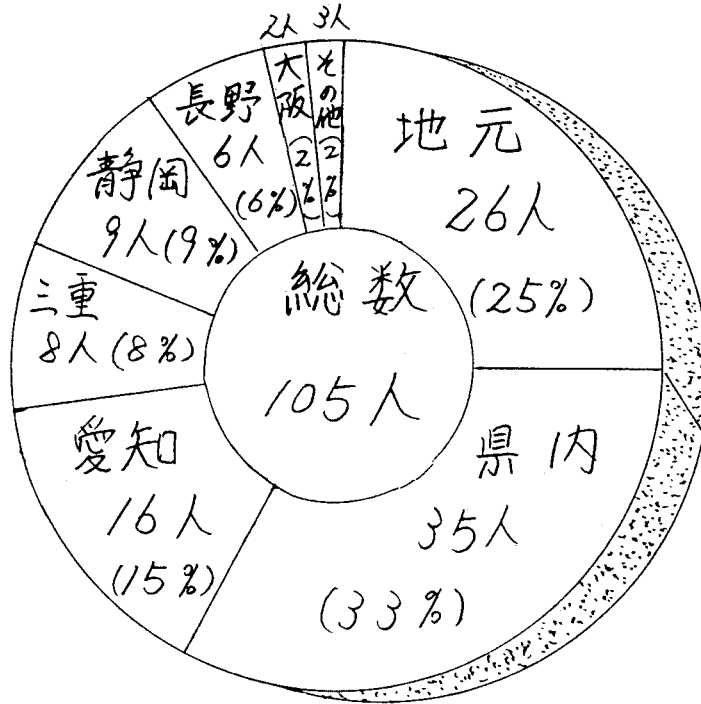
全国初の机上単価入札を実施するに当たり、各種団体・木材業界からの貴重なるご意見や暖かいご支援を頂いた。

又、支局からは深いご理解とご指導を頂くとともに、小坂・下呂・付知営林署からは貴重な銘柄材を協賛出品していただくなど、ご協力感謝している。

今後、国有林の経営環境がますます厳しくなることから、私たち販売対策委員会のメンバーは密なる連携を保ち、ともすると形式的になりがちな官庁業務を積極的に見直し、より一層の企業的な販売努力を推進してまいりたい。

図-1 単価入札者の地域別分布

61年2月20日公表



62年1月13日公表

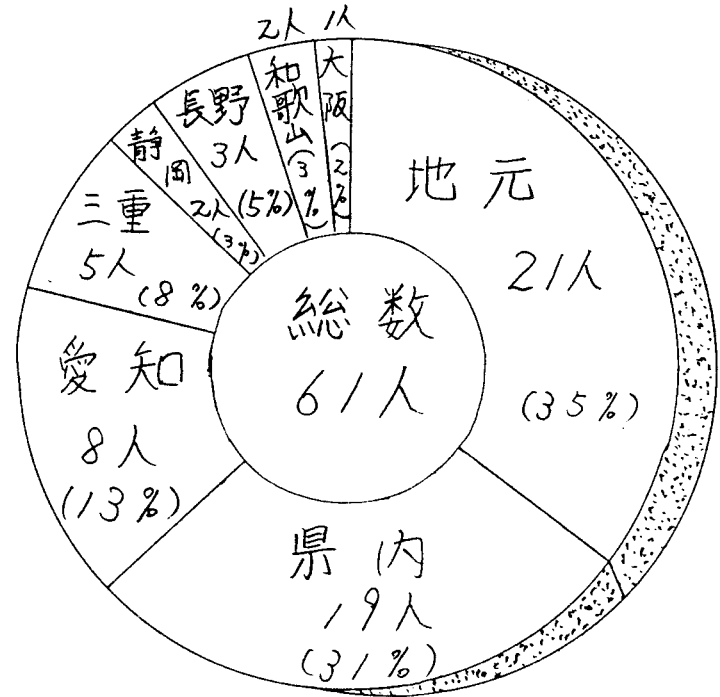


図-2 入札者と平均応札枚数の推移

